



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社  
コード番号 6306 URL <https://www.nikko-net.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中山 知巳  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 川上 晃一 TEL 078-947-3131 (代表)  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・新聞記者向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,158	△5.8	1,097	△29.1	1,391	△25.6	987	△13.7
2025年3月期第3四半期	33,070	19.7	1,547	115.3	1,871	91.8	1,144	92.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,334百万円 (75.3%) 2025年3月期第3四半期 1,332百万円 (△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	25.64	—
2025年3月期第3四半期	29.79	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	62,868	35,623	56.6	924.15
2025年3月期	63,725	34,560	54.2	897.73

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 35,612百万円 2025年3月期 34,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2026年3月期	—	17.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	3.7	3,000	8.4	3,100	0.9	2,100	4.5	54.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期第3四半期	40,000,000株	2025年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期第3四半期	1,464,726株	2025年3月期	1,512,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期第3四半期	38,516,641株	2025年3月期第3四半期	38,407,779株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会の開催日）

決算補足資料は2026年2月13日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2026年3月13日（金）に機関投資家・アナリスト・新聞記者向け説明会（ライブ配信）を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き米国の通商政策や中国における不動産不振や消費の伸び悩みが重荷となり、全体として景気を持ち直しは力強さを欠く状況でした。

国内経済は、賃上げの進展等による個人消費の下支えに加え、設備投資や雇用環境の持ち直しがみられるなど、全体として底堅く推移しました。一方で、エネルギー・資材価格の高止まりや一段の円安進行に加え、米国における関税率引き上げの動きに伴う先行き不透明感の高まりや、国際情勢を巡る地政学リスクの継続など、内外の事業環境には不確実性が残りました。

このような状況下、主力のアスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業においては、引き続きメンテナンスサービス中心に堅調に推移しました。新規受注についてもアスファルトプラントの省エネ支援制度を活用した旺盛な更新需要を着実に取り込み、安定的に確保しております。上期に遅れが生じたものの、下期に売上が偏重する季節性も踏まえ、第3四半期にかけて挽回が進み、売上高・損益ともに第2四半期と比較し前年同四半期比のマイナス幅は縮小しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は311億58百万円（前年同四半期比5.8%減）、連結営業利益は10億97百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。連結経常利益は13億91百万円（前年同四半期比25.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億87百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <アスファルトプラント関連事業>

国内のメンテナンス事業の売上高は前年同四半期比増加、国内の製品の売上高及び海外の売上高は前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比12.0%減の112億34百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

#### <コンクリートプラント関連事業>

国内の製品の売上高及びメンテナンス事業の売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比13.5%増の103億30百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

#### <環境及び搬送関連事業>

環境製品及び搬送製品の売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比17.1%増の27億69百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

#### <破碎機関連事業>

破碎機製品の売上高は前年同四半期比減少しました。当事業の売上高は、前年同四半期比39.1%減の9億78百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

#### <製造請負関連事業>

製造請負製品の売上高は前年同四半期比減少しました。当事業の売上高は、前年同四半期比43.2%減の22億12百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

#### <その他>

土農工具の売上高は前年同四半期比増加しました。仮設機材の売上高は前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比8.7%増の36億34百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は628億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億56百万円の減少となりました。

流動資産は、364億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億86百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品の26億64百万円、仕掛品の23億8百万円、その他流動資産の7億35百万円それぞれ増加、現金及び預金の46億91百万円、売掛金の43億84百万円、受取手形の3億83百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産は、264億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億29百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の22億40百万円、有形固定資産の6億57百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債は、272億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億19百万円減少いたしました。主な要因は、契約負債の14億43百万円、繰延税金負債の8億4百万円、受注損失引当金の1億34百万円それぞれ増加、短期借入金の17億93百万円、ファクタリング未払金の7億65百万円、未払法人税等の6億40百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、356億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億63百万円増加いたしました。主な要因は、

その他有価証券評価差額金の15億32百万円の増加、利益剰余金の3億21百万円、為替換算調整勘定の2億25百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.2%から56.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました業績予想数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,038	9,347
受取手形	1,268	884
売掛金	10,153	5,768
電子記録債権	2,149	2,243
商品及び製品	1,219	3,883
仕掛品	9,044	11,352
原材料及び貯蔵品	1,450	1,383
為替予約	1	40
その他	801	1,536
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	40,126	36,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,279	8,742
機械装置及び運搬具(純額)	1,574	1,486
工具、器具及び備品(純額)	581	584
土地	4,627	4,781
リース資産(純額)	-	5
使用権資産(純額)	106	94
建設仮勘定	134	268
有形固定資産合計	15,305	15,963
無形固定資産		
のれん	166	190
その他	1,032	1,006
無形固定資産合計	1,198	1,197
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	7,805
出資金	107	107
長期貸付金	10	10
繰延税金資産	538	557
その他	1,002	915
貸倒引当金	△129	△128
投資その他の資産合計	7,094	9,267
固定資産合計	23,598	26,428
資産合計	63,725	62,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,932	3,064
電子記録債務	1,444	1,283
ファクタリング未払金	2,964	2,198
短期借入金	5,489	3,696
未払法人税等	873	233
未払金	962	864
前受金	17	34
契約負債	5,092	6,536
賞与引当金	665	205
役員賞与引当金	124	92
受注損失引当金	116	251
その他	830	626
流動負債合計	21,515	19,086
固定負債		
長期借入金	4,761	4,399
繰延税金負債	163	968
役員退職慰労引当金	128	143
退職給付に係る負債	2,147	2,211
その他	448	434
固定負債合計	7,649	8,158
負債合計	29,164	27,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,805	7,820
利益剰余金	14,648	14,326
自己株式	△667	△645
株主資本合計	30,984	30,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,610	4,143
繰延ヘッジ損益	1	27
為替換算調整勘定	983	758
退職給付に係る調整累計額	△27	△16
その他の包括利益累計額合計	3,567	4,912
非支配株主持分	8	11
純資産合計	34,560	35,623
負債純資産合計	63,725	62,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,070	31,158
売上原価	23,227	21,423
売上総利益	9,843	9,735
販売費及び一般管理費	8,296	8,638
営業利益	1,547	1,097
営業外収益		
受取利息	2	12
受取配当金	178	226
為替差益	154	121
その他	98	98
営業外収益合計	434	458
営業外費用		
支払利息	76	93
損害賠償金	17	23
固定資産処分損	0	29
その他	15	16
営業外費用合計	109	163
経常利益	1,871	1,391
特別利益		
投資有価証券売却益	57	39
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	59	41
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,930	1,433
法人税、住民税及び事業税	711	356
法人税等調整額	76	87
法人税等合計	787	443
四半期純利益	1,142	989
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,144	987

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,142	989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	1,532
繰延ヘッジ損益	△12	26
為替換算調整勘定	262	△225
退職給付に係る調整額	△47	10
その他の包括利益合計	189	1,345
四半期包括利益	1,332	2,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,371	2,332
非支配株主に係る四半期包括利益	△39	2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	824百万円	917百万円
のれん償却費	23	29

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	アスファルト プラント 関連事業	コンクリート プラント 関連事業	環境及び 搬送 関連事業	破砕機 関連事業	製造請負 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,762	9,099	2,364	1,606	3,893	29,726	3,344	33,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	2	-	-	2	120	123
計	12,762	9,099	2,366	1,606	3,893	29,729	3,464	33,194
セグメント利益又は 損失(△)	284	1,105	611	4	610	2,615	392	3,008

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仮設機材事業、土農工具事業及び水門事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,615
「その他」の区分の利益	392
全社費用(注)	△1,461
四半期連結損益計算書の営業利益	1,547

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の企画・管理等の部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	アスファルト プラント 関連事業	コンクリート プラント 関連事業	環境及び 搬送 関連事業	破砕機 関連事業	製造請負 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,234	10,330	2,769	978	2,212	27,524	3,634	31,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	11	-	-	11	67	78
計	11,234	10,330	2,781	978	2,212	27,536	3,701	31,237
セグメント利益又は 損失(△)	5	1,395	686	△67	297	2,317	273	2,590

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仮設機材事業、土農工具事業及び水門事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,317
「その他」の区分の利益	273
全社費用(注)	△1,493
四半期連結損益計算書の営業利益	1,097

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の企画・管理等の部門に係る費用であります。